

ぶらっしゅあっぱ！ /



図書館の自由に関する宣言
1979年改訂（主文）

オンデマンドセミナー

図書館の自由 2026

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもたらし、資料と施設を提供することを重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。



オンデマンド配信

配信期間

2026年10月1日（木）
～12月20日（日）

期間中は、好きな時間に
何度でも視聴できます。

図書館の現場では、「図書館の自由」に関わるさまざまな悩みや迷いが生まれています。

本セミナーでは、この1年間の動向を振り返るとともに、現場で実際に起こりうる事例をもとに、図書館の自由について考えます。

図書館職員の方はもちろん、図書館に関心のあるすべての方のご参加をお待ちしています。

プログラム



無料
配信

「図書館の自由 この一年」（約30分）

報告：日本図書館協会図書館の自由委員会委員長（山口 真也 | 沖縄国際大学図書館）
2025年10月から2026年9月に起きた、図書館の自由に関する国内外の出来事の動向と課題点をわかりやすく解説します。

有料
配信

「事例解説 日常のモヤモヤどう考えればよい？」

（各15～20分／合計約90分）

※タイトル・解説者は変更になる場合もあります。

解説：日本図書館協会図書館の自由委員会 西地区委員

- ① 資料収集・提供に対する組織的な干渉への対応（天谷 真彦 | 守山市立図書館）
- ② 『アンネの日記』破損事件を振り返って（石川 舞 | 宜野湾市民図書館）
- ③ 学校図書館での資料収集・提供への介入（鈴木 啓子 | 元兵庫県立学校図書館）
- ④ 迷惑行為による入館禁止処分の是非（鈴木 崇文 | 名古屋市熱田図書館）
- ⑤ 予算削減と新聞・雑誌購読の停止をめぐる（高柳 有理子 | 豊橋市図書館）

参加費（税込）

日本図書館協会会員	1,100円
一般	2,200円
学生	550円

申込期間・申込方法

2026年9月1日（火）～
12月15日（火）17:00
申込・支払い：Peatix
（オンライン決済）



Peatix

お申込みは
こちらから！

お支払いについて

支払いはオンライン決済システム
「Peatix」を使用します。



主催

公益社団法人 日本図書館協会
図書館の自由委員会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 日本図書館協会内
TEL：03-3523-0811（代表） <https://www.jla.or.jp/>



公益社団法人 日本図書館協会
Japan Library Association